

## 新潟県立看護大学紀要投稿要項

(平成 23 年 9 月 15 日施行)

改正 平成 24 年 5 月 17 日

改正 平成 25 年 4 月 1 日

改正 平成 27 年 4 月 1 日

改正 平成 29 年 4 月 1 日

改正 令和 2 年 1 月 22 日

改正 令和 4 年 4 月 1 日

改正 令和 6 年 4 月 1 日

### 1. 目的

この要項は、新潟県立看護大学紀要規程第 10 条に基づき、投稿原稿に関して必要な事項を定める。

### 2. 投稿資格

紀要への投稿者となることができる者は、新潟県立看護大学紀要規程第 3 条に定める者とする。

### 3. 著者資格

著者とは、原稿の根幹を成す研究に重要な知的貢献をした者であり、以下の 2 つを満たしていなければならない。

- ①研究の着想、デザイン、研究データの入手、分析、解釈に実質的な貢献をした者
- ②原稿の作成・校閲に主体的に関与して最終原稿を承認し、原稿の内容に責任を負える者

### 4. 投稿原稿の種類

投稿原稿は、紀要規程第 5 条に定める以下の種類の論文とし、いずれも未発表のもの、あるいは未投稿のものに限る。

- ① 総説：ある主題についての研究の総括、論説 特定のテーマについて多面的な知見ならびに文献を検討し、総合的に概説したもの
- ② 原著：独創的な研究による、新しい知見が科学的に示されている論文
- ③ 短報：予報的または速報の意義があると認められるもの
- ④ 報告：論文としての完成度は総説・原著論文に及ばないが、研究成果の意義が明らかで、発表する価値が高いもの
- ⑤ 資料：上記①～④の論文種類に該当しないが、資料的価値があると認められるもの

### 5. 倫理的配慮

紀要規程第 6 条に該当する研究は、本学あるいはその他の倫理審査会等の承認を得たこと、および承認番号を付記して本文中に明記する。

### 6. 利益相反

投稿原稿の根幹を成す研究の遂行や論文作成における利益相反の状況を本文中に明記する。

## 7. 投稿原稿の受理

投稿要項に適合しない原稿は受理しない。

## 8. 執筆要領

(1) 原稿の構成は、以下の順とする。

- ① タイトルページ（1枚）
- ② 英文 Abstract（1枚）
- ③ 和文要旨（1枚）
- ④ 本文（引用文献を含む）
- ⑤ 図（写真）および表

(2) 本文はA4版、横書きとし、和文の場合は1枚に40字×20行（英字、数字、記号は半角）とし、英文の場合は行間をダブルスペースで20行とする。句読点は「.,」に統一する。本文と図（写真）および表（④+⑤）の枚数は以下の通りとする。図および表は、和文・英文ともに1点当たり原稿1/2枚として本文とは別に枚数を計算する。

- ① 総説20枚以内（英文の場合は24枚以内）
- ② 原著20枚以内（英文の場合は24枚以内）
- ③ 短報10枚以内（英文の場合は12枚以内）
- ④ 報告20枚以内（英文の場合は24枚以内）
- ⑤ 資料20枚以内（英文の場合は24枚以内）
- ⑥ その他10枚以内（紀要委員会（以下「委員会」という）が認めたもの）（英文の場合は12枚以内）

ただし、編集委員会の判定により、原稿の修正および種類の変更を著者に提案することがある。

(3) タイトルページには、希望する論文種類、表題、著者名、所属、英文表題、英文著者名、英文所属、キーワード（5語以内）、keywords（5語以内）、第1著者連絡先（住所、メールアドレス、電話番号）を、この順で記す。英文表題と英文著者名の表記はアメリカ心理学会（American Psychological Association、以下APA）が定めるAPA方式に準じる。（APA Manual 原書第7版、日本語訳第3版、APAに学ぶ看護系論文執筆のルール 第2版参照）

(4) 和文要旨は400字程度、英文 Abstract は総説、原著のみに付すこととし、250 words 程度とする。和文要旨の文字数、英文 Abstract の語数は、最終文の後ろに表記する。

(5) 英文については、著者の責任において投稿前に native speaker による校閲を受ける。英文 Abstract は、native speaker（英語を母国語とする人）による校閲を受けたことを示す証明書（書式は任意）を添付する。

(6) 本文には、下部中央にページ番号を入れる。

(7) 図（写真）および表

- ・ 図（写真）および表は、別紙に一つずつ作成する。
- ・ 図（写真）の題名・説明は図（写真）の下に、表の題名は表の上につける。
- ・ 図（写真）および表の本文への挿入箇所は、本文原稿の右側余白に図表番号を記

入（電子ファイル上に入力）する。

・表は原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示しない。縦罫線のかわりに十分な空白を置く。

(8) 外国の人名、地名などは、なるべく原綴を使用する。

(9) 度量衡の単位は、国際単位系（SI）に従う。

(10) 文献の記載

文献は本文に引用したものに限り、かつそのすべてを記さなければならない。文献を記載する際は、英字、数字、記号は半角で、カンマ「,」、ピリオド「.」、セミコロン「;」の後ろに半角スペースを入れる。記載方法は、アメリカ心理学会

（American Psychological Association、以下APA）が定めるAPA方式に準じて以下に示す方法による。

※以下、□は半角スペース入力位置を表す

a. 本文中の引用

① パラフレーズ引用

パラフレーズ引用とは、1つまたは複数の出典からの情報を、まとめて自分の言葉で表現することである。本文中のパラフレーズ引用箇所は、著者名と出版年を括弧表示する。

・2名の共著の場合は、著者名の間を、著者名が和文の場合はカンマ「, □」で、英文の場合はアンパサンド「□&□」でつなぐ。

(括弧引用例) “…している(江藤, 前田, 2012).” または “…している(Eto & Maeda, 2012).”

(ナラティブ引用例) “江藤, 前田(2012)は, …” または “Eto & Maeda(2012)は, …”

・共著者が3名以上の場合、筆頭著者名に、著者名が和文の場合は「ら」、英文の場合は「et al. □」を付す。

(括弧引用例) “…している(田中ら, 2012).” または “…している(Tanaka et al., 2012).”

(ナラティブ引用例) “田中ら (2012)…” または “Tanaka et al. (2012)は, …”

・異なる著者の文献を同一箇所で引用する際は、セミコロン「; □」で区切って筆頭著者のアルファベット順に表示する。

(括弧引用例) ～とする結果が複数報告されている(江藤, 1999; 前田, 長居, 2012).

(括弧引用英文例) Several studies have shown that～ (Eto, 1999; Maeda & Nagai, 2012).

・同一著者による出版年の異なる文献を同一箇所で引用する場合は、出版年の昇順にカンマ「, □」で区切って列挙する。

(括弧引用例) ～についてはすでに報告されている(田中, 2001, 2004, 2006).

(括弧引用英文例) Previous studies have reported that～(Tanaka, 2001, 2004, 2006).

・同一著者による同一出版年の複数の文献を引用する場合は、表題のアルファベット順に出版年の後に a, b, c … を付記する。

(括弧引用例) ～について報告されている(田中, 2004a, 2004b).

(括弧引用英文例) Previous studies have reported that～(Tanaka, 2004a, 2004b).

・翻訳書を本文引用する場合は、原著者名、出版年は原書出版年、翻訳書出版年の順で半角スラッシュ「/」を用いて表示する。

(例) “Benner(1984/1992)は, …” または “…している(Benner, 1984/1992).

② 直接引用

直接引用とは、定義など正確に表現する場合に使用する。

②-1 かぎ括弧引用

本文中に直接引用した箇所が 100 文字以内（英文は 40words 未満）の場合は、引用箇所をかぎ括弧「」（英文の場合は二重引用符“ ”）で括り、著者名、出版年、引用箇所のページ番号を表示する。

・直接引用した文献の記述が単一ページの場合は、年号の後のカンマに続いて、「p.」ページ番号」を表示する。複数ページにわたる場合は、年号の後のカンマに続いて、「pp.」開始ページ番号－終了ページ番号」を表示する。

（ナラティブ引用例）藤井ら（2021, p. 59）は「直接引用とは…である」と説明している。

（括弧引用例）APA による直接引用とは「著者の記述を…である」（藤井ら, 2021, p. 59-60）と説明されている。

## ②-2 ブロック引用

本文中に文献から直接引用した箇所が 100 文字以上（英文は 40words 以上）の場合は、ブロック引用にする。引用箇所はかぎ括弧「」（英文の場合は二重引用符“ ”）で括ってはいけない。著者名、出版年、引用箇所のページ番号を表示する。

ブロック引用は改行し、ブロック全体を左マージンから全角 1 文字または半角 2 文字の字下げインデントする。引用文中に段落がある場合は、後続の各段落の一行目をさらに全角 1 文字または半角 2 文字の字下げインデントする。

（ブロック引用例）

Flores ら（2018）は、有色人種のトランスジェンダーの人々の…（略）…を説明している。

研究チームの全員が、レッテルを貼られた…（略）…に影響を与えている可能性があることに注意した（p. 311）。

日本語以外の海外の文献から直接引用した場合でも、上記同様に引用箇所の語数に応じて APA が定める方法で表示する。

- b. 文献リストは筆頭著者名（姓名）のアルファベット順に列記する。共著者が 20 名までの場合は全員を表記する（英文の場合は、最終著者名の前にアンパサンド「&」を表示する）。共著者が 21 名以上の場合は、筆頭著者から 19 名までを表記してカンマ「,」と省略記号（ピリオドと半角スペースを 3 回繰り返したものの「. . .」）を示し、最終著者名を記載する。
- c. 文献リストは出典ごとにぶら下げインデント（1 行目は通常の開始、2 行目以降は全角 1 文字または半角 2 文字の字下げをした書式）で記載する。
- d. 出版年が不明な文献は、(n. d.) と表示する。
- e. 論文の表題と副題を区切る場合はコロン「:」を使用する。

### 【雑誌掲載論文】

著者名(出版年). 表題. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ.

※掲載誌名の略称は、日本語雑誌名は医中誌略誌名(医学中央雑誌刊行会)に、国際雑誌名は Index Medicus (アメリカ国立医学図書館)のタイトル略記(NLM Title Abbreviation)の所載に従う。両データベースに収録されていない場合はフルタイトルを表記する。

(例) 高柳智子, 吉川日和子, 橋本裕香, 高橋香織, 小林真由美, 吉澤正伊, . . . 加藤達雄.  
(2008). ベッドと車椅子間の移乗介助における介助者・被介助者の身体負担. 看護人間工学研究誌, 8, 27-33.

(例) Harton, B. B. (2007). Clinical staff development: Planning and teaching for desired outcomes. J. Nurses Staff Dev., 23(6), 260-268.

(例) Magtibay, D. L., Chesak, S. S., Coughlin, K., & Sood, A. (2019). Decreasing stress

and burnout in nurses: Efficacy of blended learning with stress management and resilience training program. J. Nurs. Adm., 47(7/8), 391-395.

#### 【単行本】

- 著者名. (出版年). 書名(版数※初版は表記しない). 出版社名.  
章の著者名. (出版年). 章の表題, 編者名(編), 書名(版数※初版は表記しない) (pp. 開始ページ-終了ページ). 出版社名.  
(例) 村上宣寛. (2006). 心理尺度のつくり方. 北大路書房.  
(例) 池田由美子, 荒井美千代, 阿部妙子. (2010). 地震災害看護の展開. 日本赤十字社事業局看護部(編), 災害看護学・国際看護学(p. 145). 医学書院.

#### 【翻訳書】

- 原著者名. (原書の出版年/翻訳書の出版年). 翻訳者名(訳), 翻訳書名(版数※初版は表記しない) (pp. 開始ページ-終了ページ). 出版社名.  
(例) Rogers, M. E. (1970/1979). 樋口康子, 中西睦子(訳), ロジャース看護論 (pp. 3-56). 医学書院.

#### 【オンライン出典】 Digital Objects Identifier (DOI) がある文献の場合

- 著者名. (出版年次). 表題. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ数-終了ページ数. doi: DOI 番号  
(例) 内布敦子. (2011). 巻頭言 日本看護科学学会の将来構想について考える機会にめぐまれて. 日本看護科学会誌, 31(1), 1. doi: 10.5630/jans.31.1\_1

#### 【オンライン出典】 Digital Objects Identifier (DOI) がない文献の場合

- 著者名. (出版年次). 表題. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ数-終了ページ数. URL  
(例) 関谷伸一, 山田格. (2016). デジタル写真を用いた線画作成法. 形態科学, 19(2), 63-66. <http://hdl.handle.net/10631/00001351>

#### 【ウェブページなど、逐次的に更新されることが前提となっているコンテンツ】

- 著者名(公表時期). ウェブページの表題. URL(検索日 YYYY 年 M 月 D 日)  
(例) 経済産業省. (n. d.). 教えて! 経済産業省のしごと 社会の秘密を探しに行こう!. [http://www.meti.go.jp/publication/downloadfiles/kid\\_pamphlet.pdf](http://www.meti.go.jp/publication/downloadfiles/kid_pamphlet.pdf) (検索日 2013 年 1 月 17 日)

## 9. 原稿の提出

- (1) 投稿原稿は所定のチェックリストにより、最終点検を行ったうえで、以下のものをそろえて、所定の期日までに提出する。投稿は書留による郵送または事務局紀要編集係に持参する。
  - ① 投稿チェックリスト (最終点検の結果と実施年月日を記入し、第 1 著者が署名したもの)
  - ② 印字された原稿 4 部 (正本 1 部、氏名・所属を取り外し、著者を特定する事項(倫理委員会の名称と承認番号、利益相反、著者資格、謝辞等)を隠す処理(該当の記述は取り外さずに塗りつぶす)と行番号の表示をした副本 3 部)
  - ③ 「投稿承諾書・著作権委譲承諾書」
- (2) 掲載が決定した原稿は、以下のものをそろえて、所定の期日までに提出する。(提出された原稿、電子媒体は返却しない。)
  - ① A4 版の用紙に印字されたもの 1 部

- ② Word 等のファイルとして保存した CD 等の電子記録媒体(第 1 著者の名前、使用した OS および Word 等のバージョンを付すこと)
- ③ 「投稿承諾書・著作権委譲承諾書」

#### 10. 著者資格の記載

- (1) 投稿原稿における各著者の貢献内容を著者資格として記載する。
- (2) 投稿原稿の著者は、この要項「3. 著者資格」をすべて満たす者である。「3. 著者資格」の基準すべてを満たさない貢献者(資金の獲得、データ収集、または研究グループへの部分的な助言のいずれかのみを行った者)は謝辞に記載する。謝辞の記載にあたっては、関係者同士が事前に確認し合い了解を得るものとする。
- (3) 各著者の貢献内容は次のように記載する。(各著者の貢献について言及する際、イニシャルを用いること)  
(例) AB および CD は研究の着想およびデザインに貢献；EF は統計解析の実施および草稿の作成；GH は原稿への示唆および研究プロセス全体への助言。すべての著者は最終原稿を読み、承認した。

#### 11. 校正

著者校正は、初校 1 回のみとする。

#### 12. 別刷と経費

別刷は印刷しない。発刊にかかわる経費の著者負担は、ないものとする。

#### 13. 原稿の提出先

〒943-0147 上越市新南町 240  
新潟県立看護大学 事務局 紀要編集係  
TEL 025-526-2811  
FAX 025-526-2815  
E-mail [kiyou-editor@niigata-cn.ac.jp](mailto:kiyou-editor@niigata-cn.ac.jp)

附 則

この要項は、平成 23 年 9 月 15 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 24 年 5 月 17 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 2 年 1 月 22 日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。